

ありがとうございます。〈スタンディングオベーション〉

初めてここアラバマに来ることができて、ワクワクしています。

絶対にこれから何回も来るつもりです。なぜなら、アラバマ州と素晴らしい人々に心奪われましたから。だから、また来ます。

ところで、皆さんにお尋ねしますが、イスラエルに行ったことのある方はどれくらいおられますか？

おお！こんなにたくさんとは、思ってもいませんでした。ウォ！ありがとうございます。

では、イスラエルはどれくらいの大きさだと思いますか？

世界中の、アメリカのメディアはあまりにもイスラエルに執着しているので、多くの人がイスラエルは中国と同じくらい大きいと思っています。ですよね。

真実はこれです。

これはアメリカの地図の上にイスラエルの地図を置いたものです。

Red-Yellow 色の所がありますね。それがイスラエルで、ニュージャージーとほぼ同じ、アラバマは約 10 倍の大きさです。



中東にイスラエルの地図を持って行くと、とても小さな赤い点が見えますか？ 〈笑い〉

これがイスラエルで、取り囲んでいる緑色は全てアラブ。

これが私たちの世界。

ムスリム世界は倍の大きさです。



今日私は、イスラエルがこの小さな赤い点の部分の部分を正当に有している理由と、このどんな部分も決して手放すことができない理由についてお話したいと思います。〈Amen! 拍手〉

また、イスラエルを支持するのは正しい事であるという理由もお話します。

そうです。イスラエルを支持する事は正しいのです。ユダヤの歴史とユダヤ民族の土地との関係のゆえに。イスラエルを支持する事は正しいのです。クリスチャンがそうするのは正しい事だから。〈Year! Amen!〉イスラエルは中東に於いて、キリスト教とクリスチャンを擁護する唯一の国です。〈拍手〉

イスラエルを支持する事は正しいのです。中東で唯一の民主主義国家だから。

イスラエルはその地域の中で、全ての宗教の指導者たちに信仰の自由を伝えている唯一の国であり、また女性が全く平等である唯一の国家です。

イスラエルを支持する事は正しいのです。なぜなら中東に於いて、アメリカの最も忠実で信頼できる同盟国だから。〈拍手〉

そしてイスラエルを支持する事が正しいのは、自己防衛の当然の権利があるからです。イスラエルは自己防衛の権利を持つ唯一の国です。それはまさしく、イスラエルの存在を疑問視する中での権利なのです。

では、イスラエルを支持する事は、ユダヤ民族の歴史からして最も本質的な事であるというところから始めましょう。

ユダヤ人はイスラエルの地に、アブラハム、イサク、ヤコブからダビデ王の時代まで 4000 年間置かれてきました。ダビデ王が 3000 年前に、イスラエルの都としてエルサレムを建設しますが、それからマカビー家の英雄的行為の後、現代まで遠ざかってしまいました。

ユダヤ人は再三再四、何度となく征服され、住んでいた土地から追放されましたが、しかしエルサレムへの、私たちの故郷、母国の独立への希望は、決して失いませんでした。詩篇に書かれているように。

詩篇 137:1 バビロン川のほとり そこに私たちは座り シオンを思い出して泣いた。

ユダヤ人が、自分たち自身の地に自由な国家を求めて生存のために戦っている間、人々はいつもユダヤ人の土地から彼らを引き離そうとします。

古代史で、ユダヤ人を彼らの地から断ち切るための最も注目すべき企みは、AD2世紀に起こりました。

ローマ帝国がユダヤ（Judea）地方の名前をパレスチナ（Palestine）に変えたのです。

イスラエル沿岸に住んでいたギリシャ起源の人たちで、絶滅して久しいペリシテ人の名前にちなんで、ローマがそのように名づけました。

皆さん全員が、聖書でペリシテ人の事を知っていますね。

ローマ時代、ペリシテ人はもはや2000年前に絶滅していました。ギリシャから来たペリシテ人は、既にイスラエルの中に生存していなかったのです。古代ペリシテ人は、現代のアラブ血統のパレスチナ人とは何の関係もありません。ギリシャではなくアラブ系ですよ。

この企みにも拘わらず、ユダヤ人とイスラエル、ユダヤ人と彼らの古来の土地との関係は否定できません。

更に聖書は、古代イスラエルの地での豊かなユダヤ人の生活を顧みる、数え切れないほどの考古学的証拠を示しています。

イタリア・ローマに行ったことのある方？ イスラエルに行った人よりも少ない。いい事ですね。〈笑い〉

ローマに行ったら、町の中心にあるラテン語の古い名前の『Forum Romanum』（フォロ・ロマーノ）に行くべきですよ。これは2000年前のローマ帝国の中心部で、ローマ市の絶頂期に於けるユダヤ人とイスラエルの地、そしてエルサレムとの関係を、最も印象的に証明するものの1つです。

写真は『ティトゥスの凱旋門』（Arch of Titus）の内部で、2000年前、ユダヤ人の反乱を制したローマの勝利を祝って、古代ローマの中心地に建てられました。

エルサレム神殿から持って来た燭台を含む製造物を見ますが、大変注目すべきなのは、ユダヤ人がメノラーと呼んでいる燭台がある事です。

メノラーは古代からずっとユダヤ人のシンボルであり、現代イスラエルのシンボルなのです。



散らされていた2000年の間、ユダヤ人は、聖なる地のエルサレムに帰る希望を決して捨てませんでした。

そして19世紀末、遂に多くのユダヤ人が自分たちの地に戻り始めました。

しかし今日、一般的になっている、特に若い世代に広まっている誤解があります。

それは、ユダヤ人がイスラエルの地に戻って来た時、当時そこには既にアラブ人が住んでいたということ。

事実は、19世紀にユダヤ人が母国を再建し始めた時、そこはオスマントルコの取るに足りない一部だったのです。著名なアメリカ人作家のマーク・トゥエインは1867年に聖地を訪れ、本にこう書きました。

「荒れ果てた静寂で平坦な地に一人で立っている。あらゆる全ての道で、人間は一人も見なかった。」

今日、イスラエルの地に住んでいる殆どのアラブ人は、100年くらい前に隣国から来たのですが、自分たちをパレスチナ人と呼んでいます。当時は国と国の間の国境がなかったので、より良い生活をするために、仕事を求めて近隣の土地からやって来たのです。

パレスチナ機関の中で、最も一般的な名前の1つはAl-Masri（アブハフス・アルマスリ旅団）、アラビアのエジプト人（Arabic Egyptian）という意味です。

もう1つはHollaby（ホラビー）で、シリアのアレッポから来た人という意味。

そしてサウジアラビア地域のHejazi（ヒジャージ）

古代イスラエルの地に最初にいたのはユダヤ人ではありませんが、現代ではまずユダヤ人なのです。

ユダヤ人は、その起源がユダヤにあるのでユダヤ人と呼ばれます。

アラブ人は、起源がアラビア半島なのでアラブ人なのです。

イスラエルを支持する事は、リベラルな視点からも重要です。

イスラエル生まれのアラブ人ムスリムは、イスラエルに於いて、全く平等な公民権を持っています。

実際イスラエルは、ムスリムが本当に選挙権を与えられている、中東で唯一の国です。

イスラエルのアラブ人ムスリムは、公にイスラエル絶滅を求めている彼ら固有のムスリム同胞団の政党もイスラエル議会に加わっているのです。私たちはそれを言論の自由と言いますが。〈笑い〉

イスラエルを取り巻いているパレスチナ支配の殆どのアラブ諸国では、女性は男性の、一般的には父親か夫の正式な所有物です。

イスラエルでは女性は完全に平等で、裁判官、医師、軍人、警察官、政治家など公人の分野で仕えることができます。首相さえも。

では、クリスチャンがイスラエルを支持する本質的な理由について続けましょう。

クリスチャンは、起源であるイエス・キリスト自身に辿るユダヤ人とイスラエルの地に、強く結びついています。イエスはエルサレムで十字架につけられ（殆どどの教会にもあるでしょうが）、彼の頭の上にはラテン語で表示されていました。翻訳すると『ナザレのイエス ユダヤ人の王』（Jesus of Nazareth King of The Jews）

クリスチャンは、宗教改革の後にユダヤ人の帰還が始まった事に関心を持っていますが、もっと象徴的な事が19世紀に、主にアメリカとイギリスで始まりました。

1819年、アメリカのジョン・アダムズ大統領は「私は切に願う。ユダヤ人を再び独立国家のユダヤに。」と手紙を書いています。

当時スコットランドのミニスターで、クリスチャン・シオニストのアレクサンダー・キースが作った人気のスローガンは、自分の本に書いた「土地のない人々のための 人々のいない土地」（A Land Without People, For A People Without Land）

皆さんは全員がきっと、IDF（イスラエル国防軍）とその力について聞いていると思います。

しかし、IDFはどのようにスタートしたのでしょうか。

ユダヤ人は軍隊を持っておらず、ローマに抵抗したバル・コクバの乱以後2000年間、殆ど戦いませんでした。ユダヤ人は、自分たちに何かが起こる時は戦って自分たちを守る。この事は世界に知られていません。あまり多くの人には知らない事ですが、現代の最初のユダヤ人軍隊は、あるクリスチャンによって創設されました。ジョン・ヘンリー・パターソンです。彼はイギリス軍の中佐で、敬虔なシオニストでした。第一次世界大戦の時、ジョン・パターソンはイギリス軍の中で、オスマントルコと戦うためのユダヤ軍団（Jewish Legion）を得て、彼の命令の下、ユダヤ軍団は数千年間で初のユダヤ人戦闘部隊になったのです。パターソンはIDFの名付け親とみなされています。

しかし私にとっては、個人的な側面の話でもあります。

ジョン・ヘンリー・パターソンは、私の叔父ジョナサン・ネタニヤフ（Jhonathan Netanyahu）の名付け親でもあり、彼にちなんで名前が付けられました。

叔父のジョナサンは、イスラエルの最も偉大な英雄の1人です。

彼は1976年、有名な救出作戦を導きました。アフリカのエンテベで、ユダヤ人が乗っているエアフランス機がハイジャックされたのです。

叔父はこのエンテベ作戦で、ただ1人の犠牲者となりました。

叔父と私の父はフィラデルフィアで育ちました。

そこには、叔父の栄誉をたたえるモニュメントがあります。



イスラエルを支持する事は、クリスチャンとして、クリスチャンの益のために重要です。

中東全体でクリスチャンは迫害され、浄化が起っています。

中東はキリスト教の発祥の地ですが、間もなくクリスチャンがいなくなってしまうかもしれません。

中東で唯一、クリスチャンが単に生き残るだけでなく繁栄する地、それがイスラエルです。

イスラエル国民のクリスチャンには、軍の将校、医師、国会議員、裁判官になっている人たちがいます。

クリスチャンにとってイスラエルがいかに重要であるかの良い例は、イエス・キリストが生まれた聖地ベツレヘムの存在です。ベツレヘムは1994年までイスラエルの管理下にあつて、その当時、町のクリスチャン人口はおよそ80%に上っていました。

1993年にオスロ合意に調印しベツレヘムの管理を断念、パレスチナ自治政府の管理に代わります。

結果、ムスリムの隣人たちからの何年もの迫害によって、今日ベツレヘムのクリスチャン人口は15%以下になりました。

クリスチャンに本当のボスは誰かを示すために、生誕教会の隣に巨大なモスクが建てられています。

続けましょう。

アメリカ人としてイスラエルを支持する事が重要なのは、イスラエルがアメリカにとって、中東で最も忠実な同盟国だからです。アメリカにはイスラエルほどの友人はいないし、イスラエルにはアメリカほどの友人はいません。〈拍手〉

私たちの敵はイスラエルを小さなサタンと言ひ、アメリカを大きいサタンと呼びます。〈笑い〉

敵はイスラエルを憎んでいますよ。なぜなら、中東の中心にあるアメリカ・西側の前哨基地として見ているから。なんと、彼らは正しい! 〈笑い〉

これは911が起こった時のパレスチナの反応です。

[FOX NEWS レポーター] (動画は17:55頃)

「アメリカがあつた攻撃にさらされたため、今日、東エルサレムのパレスチナ人は大喜びで、勝利のVサインをしています。これをどう判断するでしょう。アラファトはこれを激しく非難するかもしれません。見て下さい。人々は歓声を上げ、拍手し、笑っています。この卑劣な攻撃によって、何千人ものアメリカ人が死んだ事を知って喜んで居るのです。カメラに向かって、指を立てて、勝利のVサインです。」



対照的にイスラエルでは、あの日は戦慄と痛みで呻っていました。これは、ツインタワーのスチールを含んだ911のメモリアルモニュメントで、この恐ろしいテロ攻撃の犠牲となった全ての方の名前が記されています。アメリカ以外でこのようなモニュメントがあるのは、私たちの首都エルサレムだけです。〈拍手〉



イスラエルの人々は、アメリカの文化や人々だけでなく、大統領も称賛します。〈拍手、歓声〉

2週間前、イスラエルはゴラン高原に新しい町を建設しましたが、トランプ大統領に敬意を表して『トランプ高原』(Trump Heights)と命名しました。〈拍手、歓声〉イスラエルとユダヤ人は今までホワイトハウスに、これほどの良い友人を持った事はありませんでした。〈拍手〉



私たちはトランプ大統領に心から感謝しています。

私たちの本来の首都へのアメリカ大使館移転と、イスラエルがゴラン高原の所有権を持つ事を承認するという歴史的決断をして下さいました。〈拍手〉

そしてまた、イラン合意の災いから撤退して下さいました事にも深く感謝しています。〈拍手、歓声〉

この合意は、イランが核兵器を手に入れる事を可能にし、イスラエルとアメリカ、世界全体に対して深刻な生存の脅威をもたらすことでしょう。

最後に、イスラエル支持が重要なのは、自衛と生存の権利のためです。〈拍手、歓声〉

イスラエルは、自己防衛と生存の権利が疑問視されている世界で唯一の国です。

イスラエルが毎日毎日、「地上から消し去る」と脅されている、世界で唯一の国であることを心に留めておく事は重要です。パレスチナ、ヒズボラ、そして最も深刻なのがイランですが、彼らはイスラエルとユダヤ民族を絶滅させるのが、自分たちの強い願望である事を公に宣言しています。

イランはまさしくそのために核兵器を製造しているのです。

先程お見せした中東の地図で、とても小さな赤い点のイスラエルを覚えていますか？

これをズームすると、こういう事が分かります。

イスラエルで最も多くの人々が住んでいるのは、ハイライトされている部分の沿岸地域です。

西側の白い所は地中海で、東側はヨルダン川西岸地区、ユダヤ・サマリアと呼ばれるべき所。

テルアビブからわずか 11 マイル (約 17.7 km) しか離れていません。

テルアビブは言わばニューヨークのような、イスラエル最大の経済中心地です。

それだけでなく、ユダヤ・サマリア (西岸地区) はイスラエルの主要な大都市に非常に近く、そこには途方もない地理的に有益な“鉱泉”があるのです。

イスラエルの沿岸地域は海面と同じレベルですが、ユダヤ・サマリア (西岸地区) は高山帯で 3300 フィート (約 1005.84m)



そこで「イスラエルにとって、ユダヤ・サマリア (西岸地区) を切り離す事の問題は何か」と問われるかもしれません。

パレスチナは「平和の目的のために」という事を諦めているのでしょうか？ ですよ。

私たちは 1993 年-1994 年、既に平和のための選択肢を試みていました。

イスラエルはオスロ合意に調印するまで、ユダヤ・サマリア (西岸地区) とガザ地区を 100% 統治していたのです。

イスラエルはオスロ合意で、PLO (Palestine Liberation Organization/パレスチナ解放機構) を合法的パートナーとして承認しました。そして遠方の北アフリカ・チュニジアから、テルアビブと首都エルサレムから数マイルの所にある西岸地区の丘に、何万人もの PLO のリーダーたちを連れて来ました。

ここで PLO について説明します。

PLO はテロ組織で、数えきれないほどのテロによって、イスラエル中と全世界でイスラエル人、アメリカ人、ヨーロッパ人など何千人もの罪のない一般の人々を殺しています。1970 年代の有名なミュンヘンオリンピックのテロもそうでした。

オスロ合意後、イスラエルは聖地ベツレヘムを含め、ユダヤ・サマリアの全てのアラブの町とガザ地区の統治を、パレスチナ自治政府の PLO に移行しました。

イスラエルは PLO にイスラエル内の土地を渡しただけでなく、彼らが治安維持のための良い事に使うのを期待して、兵器をも与えたのです。そうならなかった事を、どうしたら信じられますか？ 〈笑い〉

オスロ合意後、イスラエルは極めて短時間の内に、レストランやクラブ、バスへの自爆テロなどの非常に凄惨な連続テロ攻撃に揺れ動かされました。卑劣なテロは何年も続き、およそ 2000 人の罪のないイスラエ

ルの一般人に死をもたらしたのです。

見てきた通り、これが「土地と引き換えに平和を」(Land For Peace) というスローガンが、全く有効ではない理由です。

パレスチナ自治政府は学校や広場、ストリートに、イスラエルの子供たちを殺したテロリストの名前を付けています。

また、報奨金政策を取っていて、テロリストとその家族に毎月報奨金を支払っています。

ユダヤ人、クリスチャン、赤ちゃん、子供、女性を殺害したテロリストは、より高額な報奨金がもらえるのです。パレスチナ自治政府の予算の約 1/4 はテロ支援に適用されます。そのお金はどこから来るのでしょうか。彼らには、お金を生み出すものは何ともありませんよ。一体どこから？

それは、一生懸命に働いて納税された西側諸国からのお金なのです。

トランプ大統領に感謝します。(スタンディングオーベーション、歓声)

アメリカは、パレスチナ自治政府が予算の 1/4 をテロに使うのをやめるまで、財政支援を中止しました。

イスラエルは非常に大きな犠牲を払いましたが、改めて、決まり文句の「土地と引き換えの平和」を試みました。今度は上手く行くかもしれないと考えながら。

それが、ガザ地区からの撤退でした。地図で、イスラエルの海岸を下って行くと茶色のエリアになりますが、そこがガザ地区です。

イスラエルは 2005 年まで、そこを統治していました。もちろんそこはパレスチナの町は含まれず、ただユダヤ人が住んでいる地区だったのです。

2005 年に撤退を決定し、1 万人以上のイスラエル国民が立ち退かされ、追い出されました。家から、農場から、全てのお墓と遺体さえも。



イスラエルは、「今度は平和になるかもしれない」という望みを抱いて、パレスチナの要求を最後の 1 インチ (約 2.54 cm) まで見直し、パレスチナは遂に、ガザに彼ら自身の政府を持ったのです。

イスラエルのある人たちは「ガザは中東のシンガポールのようなになるだろう」と言いましたが、何億ドルもの支援金を受け取って、学校やモスクや病院の建設に使う代わりに、ミサイルを製造し始めました。

ガザのパレスチナ人は境界線周辺のイスラエルの町にミサイルを撃ち込み、イスラエル国民の生活を悪夢にしています。ガザ周辺のユダヤ人コミュニティでは、警報が鳴ったら 10 秒以内にシェルターに逃げ込まなければなりません。ミサイルが飛んで来て家に命中するかもしれない事を、もし 10 秒以内に入れないなら死ぬかもしれない事を知っているから。それが 15 年以上も続いているのです。

なので、全ての子供世代が「警報が鳴ったら、10 秒以内にシェルターに逃げ込まなければならない」事だけは知っています。

時間をかけるにつれ、ガザからのミサイルの射程距離はイスラエルの奥深くまで伸びており、テルアビブやエルサレムにまで届くようになって、今やイスラエル全土をカバーしてしまいました。

イスラエルには、ガザを支配しているテロ組織ハマスとの内戦に向かう以外、選択肢はありません。

ということで見て来たとおり、「土地と引き換えの平和」は平和を実現しないばかりでなく、実際、双方に恐ろしい流血をもたらすのです。

地図で分かるように、ガザ地区は平坦で狭く、テルアビブから約 50 マイル (約 80.45 km) の距離です。

また西岸地区は、ご存知の通り東エルサレムの大きな問題です。

もしイスラエルが、国土のおよそ半分を占める山岳地帯のユダヤ・サマリア (西岸地区) に対して、ガザ地区と同じ事をしたら何が起こるか想像してみてください。テルアビブとエルサレムにあまりにも近すぎて、大変危険なのです。

私たちのニューヨークであるテルアビブがいかに危険か、という事を写真でお見せします。

これはユダヤ・サマリア（西岸地区）のパレスチナの町や村からの景色です。近くに見える山、小さな村がありますが、これがパレスチナの村です。後ろの遠くの方に見えるものの、手前側がテルアビブのタワー群、それよりも後ろに見える青いラインは海。これだけ。



もし西岸地区がないとするなら、これだけがイスラエルの国土なのです。

国際社会はイスラエルの自己防衛権を疑問視しています。

しかしイスラエルは、いつでもアラブの侵略とテロに反応します。

彼らはユダヤ・サマリアから撤退し、第2のパレスチナ領を設けるように要求して来ます。

ご存知のように、彼らは既にガザに政府を持っていますよ。

その動きは、遂にはイスラエルを確かな破滅へと導くでしょう。

そういう訳で、イスラエルは絶対に、決して、ユダヤ・サマリアを切り離すべきではないのです。〈拍手〉

結論です。

ユダヤの歴史のゆえに、中東で唯一の民主主義のゆえに、皆さんがクリスチャンであるがゆえに、皆さんがアメリカ人だから、そしてイスラエルの自己防衛と生存の権利のゆえに、イスラエルを支持する事は正しいのです。

ユダヤ民族とイスラエルの地とのつながりは、何千年も前にさかのぼります。

聖書時代から現代までずっと、ユダヤ人をイスラエルの地から引き離そうとする強大な力が働いていますが、失敗して来ました。

今現在もこの事をやっている人たちは、同じように失敗するでしょう。〈拍手、歓声〉

今日、私は皆さんにお願いします。イスラエルを支持する人になって下さい。

皆さんが投票する時、選挙で選ばれた代表者が、イスラエルのために良い事をするかを考慮するのは重要です。〈Yes! Yes!〉

重ねてお願いします。皆さんの教会やコミュニティ、特にお子さんやお孫さんたちが、イスラエルを愛する人になって下さるように。〈Yes!〉

どうぞ、イスラエルにいらして下さい。ダビデ王やイエス・キリストの足跡を辿ることができますよ。

The Jewish Christian Brotherhood と American Israeli Alliance が、ますます強固なものになって行く事を信じています。〈Amen! 拍手〉

God Bless America ! God Bless Israel !

Thank you all so much ! 〈スタンディングオーベーション、歓声〉



